

ワークショップ5

「高齢者消化管癌診療における化学療法・外科手術の適応と工夫」

司会 馬場 秀夫（熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学）
佐藤 太郎（大阪大学大学院医学系研究科
癌先進薬物療法開発学寄附講座）

高齢者は老化による身体機能、臓器機能、認知機能の低下や、様々な併存疾患などの背景を抱えている。消化管癌は生命に関わるような出血や穿孔に加え、経口摂取困難による栄養状態・全身状態の悪化を伴うことも少なくない。高齢者においては全身状態、治療の侵襲、治療後の QOL を考慮したバランスのとれた治療戦略が求められ、本セッションではそのような高齢者消化管癌における化学療法・外科手術の適応と工夫について議論をしていただきたい。